



「三センチうへの視線」

学校長：武藤 浩之

- トランヴェールという名の社内誌があります。JR東日本が発行している新幹線車内サービス誌です。私事になりますが、乗車の際の楽しみの一つになっています。
- この社内誌を手にしたときに必ずページを繰るのはコラムです。以前は沢木耕太郎さんによる「旅のつばくろ」でした。今は柚月裕子さんの「旅のまにまに」です。
- 年明け早々、所用で新幹線を使いました。短時間の移動でしたが、いつものように読み始めたトランヴェール。以下、柚月さんの「旅のまにまに」からの剽窃です。

人は自信がないと、自然に顔が下を向く。私はいつも道がわからないから、不安で下を向いて歩く癖がついていたのだ。そのことに気づいてから、視線を三センチうえにあげながら歩くようにしている。方向音痴はなかなか直らないが、前より道に迷わなくなっている。人生も旅と同じだ。不安になったときこそ、三センチ顔を上げるようにしている。そうすることで、見えなかった道が見えてくる。そう信じている。

- 『ことば』との出会いは、ときに『ひと』との出会いにも増して深く心に残ります。人生も旅と同じ。不安になったときこそ三センチ顔を上げる。そうすることで見えなかった道が見えてくる。私は車中で、柚月さんの『ことば』に出会いました。
- 学校生活も人生であり、また、旅でもあります。子どもたちにとって学校という場でのその旅は、まだまだ続きます。道すがら迷うことも不安になることもあるでしょう。そういうときには三センチ顔を上げ、進むべき道を見つけ、前に進んで欲しいと思っています。
- 令和6年度の「聖母小だより」は本号にて最終号になります。6年生が巣立ちゆく卒業式と、年度の締め括りの修業式は少々先のことですが、この紙面をもちまして、保護者の方々のご支援とご協力に感謝申し上げ、巻頭言の結びといたします。

「鼓笛移杖式」 2025/2/6(木) 教頭：中津真貴子

毎年この時季に行われる聖母小伝統の「鼓笛移杖式」。今年も全校生が参加しての開催となりました。鼓笛を引き継ぐ6年生、それを受け継ぐ5年生、そしていよいよ鼓笛デビューとなる4年生。式開始前の凜とした空気もまた聖母小の伝統の一つです。指揮杖は、6年生の さんから、5年生の さんへと引き継がれました。送る側、受け取る側双方の力強い挨拶は見事でした。その後の6年生最後の演奏は6年生20名の心が一つになったすばらしいものでした。指揮の中で非常に印象的だったのは、5年生の演奏を見守る6年生の姿です。誰一人微動だにせず、じっと5年生を見つめるその瞳には、これまでの想い、そして聖母小鼓笛へのこれからの想いが溢れていました。6年生の姿に、我々教員も強く胸を打たれました。いよいよ聖母小の鼓笛も新年度に向けて新たなスタートを切りました。



先輩方の想いをしっかりと受け継ぎます！

ありがとうございました!!

ご寄付の御礼

★手芸ボランティアより…40,000円(幼小)活動収益よりご寄付いただきました。心より感謝申し上げます。

資源回収 学校側担当：奥山 陽介

●先月15日(土)に今年度3回目の「資源回収」を行ないました。毎回、朝早くからのご協力をいただきました。深く感謝申し上げます。(総量は後日報告いたします。)

ベルマーク作業 学校側担当：矢吹 路子

●同日に「ベルマーク作業」を行ないました。皆様のお力によりまして、無事に今年度の作業を終えることができました。一年間のご協力に心より御礼申し上げます。

★今回の点数…21,297点

おめでとうございます!!

第69回 福島県書きぞめ展

・書きぞめ賞 5年：
・書きぞめ奨励賞 3年：
6年：
*学校としても、「学校賞」を受賞しました。

第21回 英語コンペティション

【ソロリーディング部門】

・第2位 5年：
・審査員特別賞「松香賞」4年：

【グループパフォーマンス部門】

・第3位 3年

「ミスト扇風機」をいただきました～佐藤工業様より～

2月20日(木)佐藤工業様が来校され、本校へと「ミスト扇風機」の寄贈を受けました。佐藤工業様は、「地域貢献活動」の一環として地域の子どもたちへの寄付活動を実施されておられます。

地球温暖化の猛暑対策として、「夏季行事の際、ミスト扇風機の優しく穏やかな涼しさにより、体温の上昇を防ぎ、クールダウンを促してほしい」とのお話がありました。心より感謝申し上げます。有難く活用させていただきます。



卒業練成会&卒業ミサ～自分の心と向き合った一日～2025/2/19(水) 6年担任：佐藤 勇作

午前中は、サレジオ修道会の北川大介神父様のご指導の下、ワークショップを行いました。始めは緊張していた子どもたちも、北川神父の優しさに心がほぐれ、自然体で活動を楽しむ姿が見られました。活動の一つとして取り組んだ「6年間の振り返り」では、これまでの成長や今の自分、これからの自分について考えました。その中でも、「未来のことを考えられること自体が幸せ」という神父様の言葉が印象に残りました。私たちは、恵まれた環境にいますが、それが有難いことであることを忘れてしまいます。その有難さを忘れないために「祈り」があります。今までの恵みに感謝し、これからの恵みを願う。新たな環境へ進む6年生。これからも「祈り」を心の支えとして大切にしていきたいと思います。

午後の「卒業ミサ」では、午前中の活動で感じたことを一人ひとり発表しました。自分の思いを堂々と発表する姿から、卒業がまた一歩近づいたことを実感しました。

★ 卒業練成会で私が心に残ったことは、北川神父様からの「なりたい自分」についてのお話です。今日の食事もとれるか分からない子どもたちがいることを改めて知り、そんな人たちのことを思ってお祈りしようと思いました。また、「なりたい自分」があることは恵まれているということも実感しました。私の「なりたい自分」は、「やるべきことをしっかりこなし、人のために働ける自分」です。そんな自分になれるように、今日学んだことをこれからの生活に生かしていきたいと思いました。



修道院聖堂にて、初めてのミサにあずかりました。